

農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究
現場ニーズ対応型プロジェクト
品種多様性拡大に向けた種子生産の効率化技術の開発
研究概要図

個別課題番号	20319565
個別課題名	品種多様性拡大に向けた種子生産の効率化技術の開発

研究実施期間	令和2年度～令和6年度（5年間）
代表機関	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 （次世代作物開発研究センター）
研究開発責任者	石井 卓朗
研究開発責任者 連絡先	TEL : 029-838-7441
共同研究機関	国立大学法人 東京工業大学（情報理工学院） （株）NTTデータCCS 富山県農林水産総合技術センター（農業研究所） 秋田県農業試験場 長野県農業試験場 埼玉県農業技術研究センター 鹿児島県農業開発総合センター 全国農業協同組合連合会

< 研究概要図 >

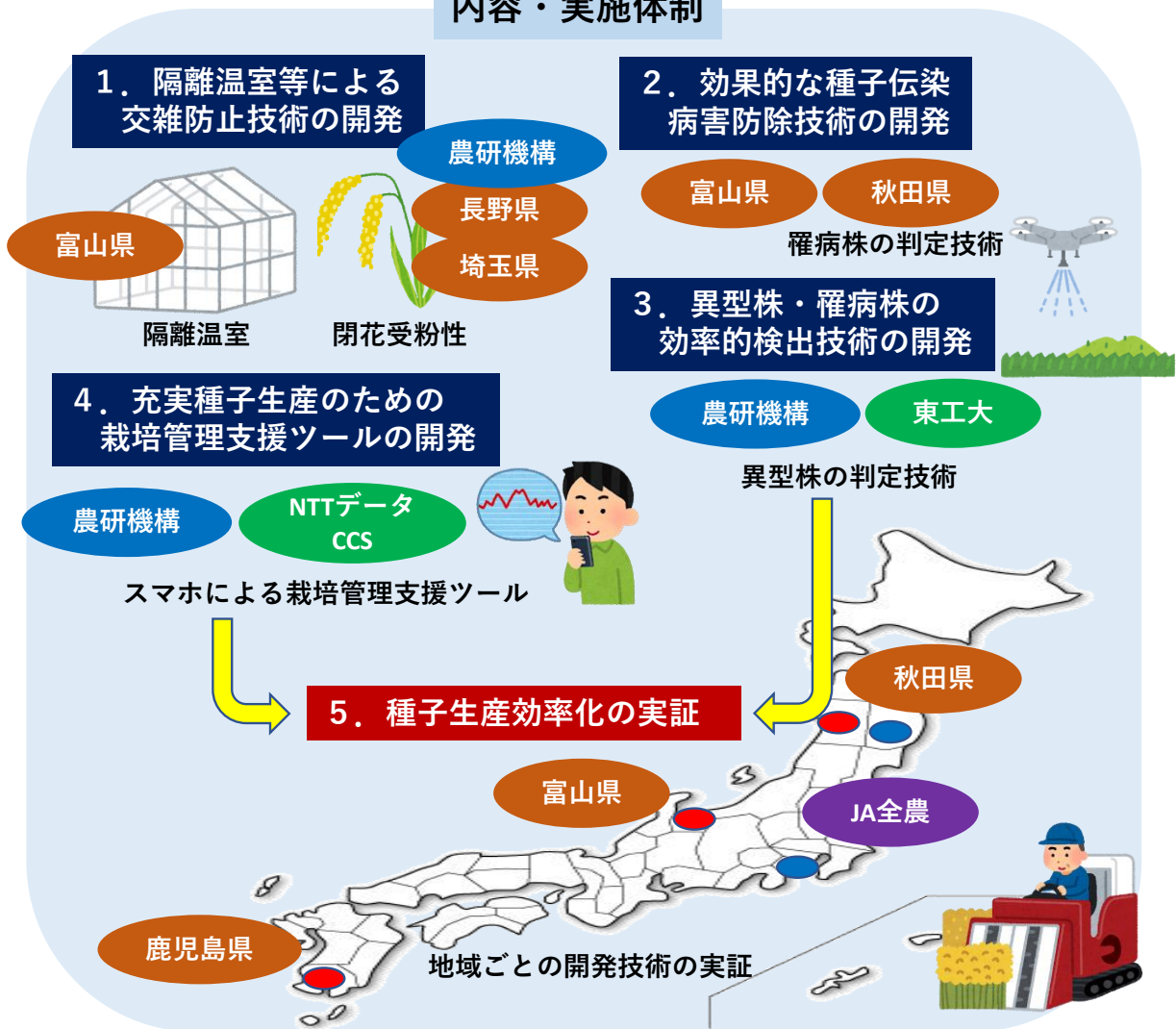
公募課題名	品種多様性拡大に向けた種子生産の効率化技術の開発
-------	--------------------------

種子生産農家の高齢化、取り扱う品種数の増加
→ 種子生産現場の慢性的な人手不足

目的・達成目標

種子生産効率化マニュアルと栽培管理支援ツールの作成
→ 異品種・被害粒の混入がなく、健全な種子の安定生産技術

内容・実施体制



波及効果・国民生活等への貢献

- 種子生産農家の作業時間の軽減、健全な種子の安定生産の促進
- 増加する品種数に対応できる種子生産体制の構築
→ 実需者・消費者が求める品種の迅速な普及